

1. 2022年度エコドライブシンポジウム開催概要

2022年11月28日千代田区立内幸町ホールにて、エコドライブ普及推進協議会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団共催で、「2022年度エコドライブシンポジウム～地球と走ろう環境にやさしいエコドライブで～」を開催しました。

取組事例として磐城通運株式会社、DINS 関西株式会社、いすゞ自動車株式会社、南海バス株式会社から、それぞれの取組の概要、現状や成果、今後の課題などについてご紹介をいただきました。

当日は新型コロナウイルス感染症の影響がある中ご来場いただき、誠にありがとうございました。

(1) 開催概要

- 日 時：2022年11月28日(月) 13:30～16:00
- 場 所：千代田区立内幸町ホール（東京都千代田区）
- 主 催：エコドライブ普及推進協議会
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- 参加者数：約70名

(2) プログラム

1) 開会挨拶

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 会長 岩村 敬
国土交通省 総合政策局 次長 岩月 理浩 氏
環境省 水・大気環境局 自動車環境対策課長 福島 健彦 氏

2) 2022年度エコドライブ活動コンクール 表彰式

国土交通大臣賞： 1件
環境大臣賞： 1件
審査委員長特別賞： 2件
優秀賞： 7件

3) エコドライブの取組紹介

- ① 2022年度エコドライブ活動コンクール事業部門
国土交通大臣賞受賞事業者の発表
「全員参加で取り組む エコドライブ活動」
磐城通運株式会社 常務取締役 北郷 秀一 氏
- ② 2022年度エコドライブ活動コンクール一般部門
環境大臣賞受賞事業者の発表
「エコドライブ活動への取り組み」
DINS 関西株式会社 代表取締役社長 大田 成幸 氏
- ③ 2022年度エコドライブ活動コンクール支援ビジネス部門
審査委員長特別賞受賞事業者の発表
「MIMAMORI（運行管理サービス）が提供する、お客様の課題解決について」
いすゞ自動車株式会社 商品技術戦略部門 齋藤 栄一 氏
- ④ 2022年度エコドライブ活動コンクール事業部門
優秀賞受賞事業者の発表
「エコドライブ = 安全 + 安心」
南海バス株式会社 井高野営業所支配人 河本 裕之 氏

＜会場写真＞



会場



開会挨拶（エコモ財団）



開会挨拶（国土交通省）



開会挨拶（環境省）



国土交通大臣賞授与



集合写真



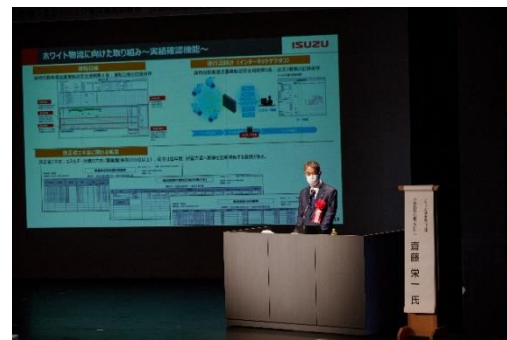
国土交通大臣賞受賞事業者の発表（磐城通運株式会社）



環境大臣賞受賞事業者の発表（DINS関西株式会社）



審査委員長特別賞受賞事業者の発表（いすゞ自動車株式会社）



優秀賞受賞事業者の発表（南海バス株式会社）



2. 2022 年度エコドライブ活動コンクール表彰式

- 国土交通大臣賞
事業部門 磐城通運株式会社
- 環境大臣賞
一般部門 D I N S 関西株式会社 GE 事業所
- 審査委員長特別賞 (2 件)
いすゞ自動車株式会社
株式会社渡辺精工社・株式会社トワード
- 優秀賞 (7 件)
事業部門 花王ロジスティクス株式会社 石狩営業所
日本トラック株式会社
有限会社裕進運輸
有限会社エース 三重営業所
南海バス株式会社 井高野営業所
一般部門 仲田総業株式会社 川田事業所
エステー株式会社



国土交通大臣賞：磐城通運株式会社



環境大臣賞：D I N S 関西株式会社 GE 事業所

審査委員長特別賞：



いすゞ自動車株式会社



株式会社渡辺精工社・株式会社トワード

優秀賞：



花王ロジスティクス株式会社 石狩営業所



日本トラック株式会社



有限会社裕進運輸



有限会社エース 三重営業所



南海バス株式会社 井高野営業所



仲田総業株式会社 川田事業所



エステー株式会社

3. エコドライブの取組紹介

① 2022 年度エコドライブ活動コンクール事業部門 国土交通大臣賞受賞事業者の発表

【磐城通運株式会社】

「全員参加で取り組む エコドライブ活動」

磐城通運株式会社 常務取締役

北郷 秀一 氏

車両部 環境管理・運輸安全推進課長 林田 重博 氏

<講演概要>

- ・磐城通運株式会社は昭和 18 年 4 月 1 日に設立した。現在の従業員数（パートを含む）が 395 名、車両（荷役機械を含む）が 342 台。事業所はいわき市内 15 拠点、東京 1 拠点、計 16 拠点となっている。
- ・平成 16 年 12 月に安全性優良事業所、平成 17 年 12 月にグリーン経営認証、令和 3 年 4 月に働きやすい職場認証を取得した。
- ・社内に中央安全衛生委員会、運輸安全マネジメント委員会、環境問題対策委員会の 3 つの委員会があり、エコドライブ活動に関わっている。
- ・環境問題対策委員会では委員長と副委員長の下に各拠点長が所属しており、情報共有や各課題への対策検討などを実施している。
- ・毎年、自社の活動の成果を評価し、その結果に基づき次年度の環境行動計画を策定。また、環境行動計画に基づいて年間スケジュールを決めている。
- ・各事業所で車種ごとに整備管理者を配置し、きめ細やかな管理体制を構築している。
- ・車両自主管理表を作成し、燃費管理と点検整備を 1 枚のシートで管理。また、点検整備連絡シートにてドライバーの整備点検記録を整備管理者に連絡している。
- ・外部講習は管理者向けにグリーン経営講習会、ドライバー向け講習会にはトラックディーラーなどから講師を招いて点検整備やエコドライブの教育を実施している。
- ・エコドライブ体験講習会では車両に燃費計を取り付け、エコドライブがどれぐらいの効果があるかドライバーに体験してもらっている。
- ・教育資料は紙媒体と DVD があり、紙媒体に関しては自社で作成した資料も使用している。
- ・環境問題に関して分かりやすく記載された書籍を回覧することでドライバーのエコ意識向上を図っている。
- ・マイカーに関するエコドライブ教育としては、9 割の従業員が自家用車で通勤しているため、エコドライブ通勤のすすめというポスターの掲示やエコドライブ通勤チェックシートを活用して自己評価をしてもらっている。
- ・平成 16 年からエコドライブ活動を開始し、活動開始時から 20%の燃費改善を目標に設定。活動開始直後は好調に燃費が改善していたが、近年は少し足踏み状態になっている。車両の大型化による燃費の悪化や、事業の効率化を図るために帰り荷を積むことが増えたことなどが原因と考えている。
- ・事業所ごとに重点推進項目を設定し「エコドライブ・コンテスト」を実施。事業所単位で上位 2 事業所、個人で上位 10 位までを表彰している。
- ・エコドライブの活動が評価され環境省の COOL CHOICE TV で取り上げられた。
- ・当社では教育が一番重要だと考え続けてきた。国土交通大臣賞の受賞を機に環境保全取組のより一層のレベルアップを図っていきたいと考えている。

<講演資料抜粋>



<講演状況>



② 2022 年度エコドライブ活動コンクール一般部門
環境大臣賞受賞事業者の発表

【D I N S 関西株式会社】

「エコドライブ活動への取り組み」

D I N S 関西株式会社 代表取締役 大田 成幸 氏
GE 事業所 課長 石橋 耕治 氏

<講演概要>

- ・ D I N S 関西は大栄環境グループに属しており、主な事業内容は廃棄物の処理処分を行っている。
- ・ 環境を扱う業務はエコアクション 21 と ISO のグループが実施している。
- ・ D I N S 関西には 4 事業所があり、堺エリアには今回受賞となった GE 事業所、RAC 事業所、バイオエタノール事業所があり、寝屋川エリアで R&E 事業所という構成になっている。
- ・ エコアクション 21 認証登録を目指した環境経営活動の一環として 2006 年 10 月からエコドライブ活動を開始し、活動継続 17 年目となった。
- ・ GE 事業所を含む 3 事業所がエコアクション 21 に認証登録している。エコアクション 21 委員会の下に各事業所の環境責任者を配置。さらに各部署にエコアクション委員を配置し環境活動を推進している。
- ・ GE 事業所は従業員が業務で外出する際に使用する普通ガソリン車を 3 台、さらにフルトレーラーと 4t コンテナ車を保有している。
- ・ 2019 年に導入したフルトレーラーは導入前まで使用していた 10t コンテナ車と比べて燃費は悪化したが、運搬量が 2 倍であるため運搬効率を燃費に換算すると約 40% の燃費改善となっている。
- ・ エコドライブ活動の目標として年間目標と 2022 年から 2024 年までの中長期目標を設定。目標を達成するために年間活動計画を立て、どのような活動を実施するか具体的に決めて活動を行っている。
- ・ 燃費計を活用し常に車内で瞬間燃費と平均燃費を確認できるようにしている。アクセル操作の違いによる燃費の変化など、自身の運転の結果がすぐに反映されることで社員の意識向上や楽しくエコドライブに取り組めるようにしている。
- ・ 正式な燃費の記録は満タン法で行っているが、運転日報には燃費計の数値を書き込む欄を設け、すぐに自身の運転の振り返りや分析が行えるよう工夫している。
- ・ エコドライブ講習は同乗指導による大型車講習や、堺市の出前講座でドライビングシミュレーター活用したエコドライブ講習を実施している。
- ・ 毎月開催されるエコアクション 21 委員会において活動の進捗や課題などの話し合いを実施。その後、エコアクション 21 委員が各部署で実施する内部コミュニケーションによって取組の水平展開や意見の吸い上げを行っている。
- ・ マイカーの燃費管理など、誰にでもできる環境活動をポイント化する環境ラリーという取組を行っている。
- ・ 2006 年からエコドライブに必要な活動を着実に継続して取り組み、成果を上げてきた。さらに、エコドライブ効果で車両事故災害ゼロを継続している。
- ・ GE 事業所から始まった活動を D I N S 関西全体に広げていきたいと考えている。さらに大栄環境グループにこの活動を広げていき、エコドライブ活動によって削減した燃料費などについて社員の評価につながる流れも検討したいと考えている。

<講演資料抜粋>

1. 会社概要

GE 事業所

安心・安全をコンセプトに廃棄物を適正に処理し
エネルギーや資源に変える

ea エコアクション21
2025年4月17日

サマールサイクル

15,148 m²

建設2階 建設1階 建設0階

ソーラーパネル屋根
マテリアルリサイクル機

排水100%循環利用

7 大東環境グループ

2. エコドライブ活動のご紹介

エコドライブ活動推進体制

各環境経営活動は、エコアクション21委員会において推進しており、エコドライブ活動は、車両の管轄部署である「計量課」が担当しております。

環境体制組織図

内部広報チーム EA21事務局 米どりの委員会

RA C 事業所 事業所施設管理責任者 総務課 業務課 業務1課 業務2課 業務3課 業務4課

バイオエナジー事業 事業所施設管理責任者 総務課 エタノール課 チョウ課

GE事業所 事業所施設管理責任者 総務課 計量課 サマールサイクル課 マテリアルリサイクル課

13 大東環境グループ

2. エコドライブ活動のご紹介

フルトララーのご紹介

2019年に導入。それまでに使用していた10tコンテナ車と比較して、2倍の運搬量！ただし、燃費は10tコンテナ車の3.1km/ℓ (2019年度) から2.2km/ℓに低下、しかし、2倍の運搬量を燃費に換算すると、4.4km/ℓとなり、**約40%の燃費向上！！**

三重県の処分場へ(往復)運搬した場合の走行距離・燃油使用量比較

10tコンテナ車2台	10tフルトララー1台
注: 走行距離: 4000km 消費燃油量: 120ℓ	注: 走行距離: 1800km 消費燃油量: 90ℓ

15 大東環境グループ

2. エコドライブ活動のご紹介

燃費計の活用

「瞬間燃費」「平均燃費」を表示、アクセルの踏み方による燃費の変化など、自身の運転が反映されることによって、社員の意識向上、また、楽しくエコドライブに取り組みやすいように運用しております。

19 大東環境グループ

2. エコドライブ活動のご紹介

エコドライブ講習

年間計画に基づき様々な教育・訓練を実施しています。エコドライブ講習は年2回実施しています。

大型車講習
普通車講習 (新卒者の研修)

24 大東環境グループ

2. エコドライブ活動のご紹介

社内への水平展開

毎月開催される「エコアクション21委員会」において活動の結果について話し合い、その後各部署でエコアクション21委員より、社員に周知されます。

エコアクション21委員会
活動の内容、結果、進捗等についてエコアクション21委員が集まり、話し合いを実施。

内部コミュニケーション
全員参加型の内部コミュニケーションにて社員に周知！！
各部署で月1回開催。活動結果や環境に関するテーマ等で自由に意見交換！！

25 大東環境グループ

<講演状況>



③ 2022 年度エコドライブ活動コンクール支援ビジネス部門
審査委員長特別賞受賞事業者の発表

【いすゞ自動車株式会社】

「MIMAMORI（運行管理サービス）が提供する、お客様の課題解決について」

いすゞ自動車株式会社 商品技術戦略部門 齋藤 栄一 氏

<講演概要>

- ・現在、物流業界は様々な課題に直面している。環境問題では地球温暖化に伴う異常気象の一因が CO2 排出量の増加といわれておりまた、物流業界特有のドライバー不足や荷物の低積載率などの社会課題にも対応しなければならない。
- ・トラックは経済活動や生活を支える重要な社会インフラだが、カーボンニュートラルという社会課題、ホワイト物流の推進や DX 化などの業界課題を抱えている。
- ・いすゞはカーボンニュートラルへの取組を踏まえ、進化する物流に貢献したいと考えている。その中でもコネクティッドサービスは重要との認識を持ち、MIMAMORI という運行管理サービスに取り組んでいる。
- ・コネクティッドサービスは物流事業者の業務効率化には欠かせないものだと考え、2004 年から商用車メーカーとして運行管理サービスに取り組んできた。
- ・数々のモデルチェンジやサービスの改善、追加を行い、現在 MIMAMORI は約 6 万 5 千台の車両でご利用いただいている。いすゞは商用車メーカー唯一の運行管理サービスプロバイダーとしてエコドライブを促進してきた。
- ・MIMAMORI のエコドライブトレーニング機能では、統一した基準により運転の改善点をアドバイスしている。また、運行中には車載器から良かった点を音声でお知らせし、運行終了直後には乗務員様自らが運転の評価をスマートフォンで確認できるようになっている。
- ・運行後のレポートでは、点数、等級によるエコドライブの実践度合を表示。同じ運行形態でのランキング推移をグラフ化しエコドライブ運転技術の向上を促し、さらに、特に改善が必要な項目を 3 つピックアップし、トレーニングメニューも表示している。また、管理者にこれらの情報を共有することで、具体的な改善指導にも活用いただいている。
- ・いすゞ車の場合は車両のコントロールユニットから詳細データを取得でき、省燃費運転や安全運転のアドバイスに活用している。
- ・MIMAMORI を利用しているお客様の中から 20 社をランダムに選び、燃費改善率を確認すると最高で 39%、平均でも 11%改善していた。
- ・仮に MIMAMORI を利用している全てのお客様が平均と同じ燃費改善率だった場合、年間の燃料使用量で約 9,900 万 L、CO2 換算で 25 万 7 千 t 削減できることになる。
- ・次に 2024 年問題、ドライバー不足、働き方改革、ホワイト物流に対する取組として、労務管理機能、点呼機能、実績確認機能を備えている。また、日常点検や荷役作業といった乗務員様の日々の業務の効率化するサポートアプリも用意。
- ・最後に安全運行や稼働率向上に対する機能として、急ブレーキの検知地点を運行管理者に知らせる機能や、事故や故障等が発生した場合、車載機の操作を行うことで、いすゞ緊急ロードサービスに情報を送信する機能などもある。
- ・これからもお客様の価値最大化を目指し、『荷主様』・『運送事業者様』・『倉庫事業者様』のみならず、社会インフラなどの連携により、物流業界が抱えるさまざまな課題解決に、『貢献するための仕組み』を提供して行きたいと思っております。

<講演資料抜粋>

社会・業界課題といすゞの取組み

ISUZU

■ カーボンニュートラルや物流業界課題に対し、いすゞはカーボンニュートラルへの取組みを踏まえ、進化する物流へ貢献。中でも3つのターゲットは重要との認識。MIMAMORIは社会・業界課題解決に向けた取組みのひとつ。

社会・業界課題

- カーボンニュートラル（CO₂削減）**
 - 電動化
 - 再生可能エネルギー/CO₂削減
 - 物流効率化
- 物流効率化（ホワイト物流/DX）**
 - 電動化
 - ドライバー不足
 - 2024年禁煙
 - 経営効率化
 - 安全運行

いすゞの取組み

EVと燃料電池車（FCV）の両輪でカーボンニュートラルを実現

- 電動化と内空環境の取組み**
 - 小型EV商用車
 - 大型EV-GIGA商用車
 - 燃料電池車商用車
 - CO₂削減
- 物流効率化の取組み**
 - 自動運転実証実験
 - 25m7tトラック/7.6tトラック
- 進化する物流へ貢献**
 - MIMAMORI
 - トラックサービス
 - 事業の効率化サポート
 - 稼働率向上

MIMAMORIは、運行管理サービス。CN+は、カーボンニュートラル。

省燃費運転支援機能～エコドライブトレーニング～

ISUZU

■ 統一した基準による評価で、改善点をアドバイス。省燃費運転で良かった部分を賞状で運転員へお知らせ。
■ 過去の評価及び全員の関心度指標の乗務員間と比較し、自身の省燃費運転実践度合いを把握可能。

省燃費運転支援機能は、運転員が燃費効率の良い運転を行う際に、リアルタイムでフィードバックを提供し、改善点をアドバイスします。また、過去の評価や全員の関心度指標を乗務員間と比較し、自身の省燃費運転実践度合いを把握可能にします。

<参考>エコドライブトレーニングレポート

ISUZU

乗務員稼働に点数と等級を表示。等級アップの目標値を表示し、省燃費運転技術の向上を図ります。

アイコンでわかりやすく省燃費運転実践度合いを表現。昇格の目標値を表示します。

画面上でわかりやすく省燃費運転実践度合いを表現。昇格の目標値を表示します。

省燃費運転評価(6項目)の中で特に改善が必要な項目を3つピックアップ。トレーニングメニューを自動、自律的に改善ポイントを獲得できます。

燃費向上効果

ISUZU

■ MIMAMORIをご利用いただいているお客様の中から20社のお客様をランダムに選び、燃費の向上率を確認。
■ 最高で39%の向上を実現。平均でも11%の向上が認められる。

会社名	10月1日	10月31日	燃費向上率
株式会社A	3.8	3.9	2%
株式会社B	3.1	3.4	10%
株式会社C	3.1	3.3	6%
株式会社D	4.2	4.3	2%
株式会社E	3.7	4.1	11%
株式会社F	1.3	1.5	15%
株式会社G	4.2	5.8	38%
株式会社H	2.9	3.2	10%
株式会社I	5.0	6.1	22%
株式会社J	6.2	6.5	5%
株式会社K	5.8	6.4	10%
株式会社L	6.1	6.3	3%
株式会社M	4.6	5.0	9%
株式会社N	4.7	5.8	24%
株式会社O	5.1	6.4	25%
株式会社P	6.1	6.3	3%
株式会社Q	6.7	7.3	9%
株式会社R	6.8	7.0	3%
株式会社S	7.2	7.6	5%
株式会社T	6.7	6.7	0%
株式会社U	4.9	5.3	7%

燃費向上率: 21%, 11%, 11%, 2%, 11%, 15%, 39%, 10%, 5%, 10%, 3%, 9%, 24%, 25%, 3%, 9%, 3%, 7%

調査期間: 2018年10月～2019年10月 MIMAMORIが導入されたトラックに限定

乗務員様の業務効率化支援～スマホアプリ～

ISUZU

■ 日常点検、荷役作業といった乗務員様の日々の業務を効率化するサポートアプリ
「日常点検」: 最終作業確認が表示されるので、必要な点検を忘れずに実施可能。
「荷役作業」: 作業記録、荷主のサインを電子記録することで、業務を効率化。

「日常点検」: 最終作業確認が表示されるので、必要な点検を忘れずに実施可能。
「荷役作業」: 作業記録、荷主のサインを電子記録することで、業務を効率化。

運行前に実施する点検の記録をアプリに記録できます。

荷役記録の日報、荷主の電子サインを記録できます。

労働時間を確認することができます。

自身の位置の履歴レポートを確認できます。

様々な業界と協力しながら物流企業様に貢献

ISUZU

お客様の配達業務や荷役業務の効率化を促進するための提案サービス。

運行管理サービス

燃費向上サポート

顧客サポートサービス

お客様の配達業務や荷役業務の効率化を促進するための提案サービス。

運行管理サービス

燃費向上サポート

顧客サポートサービス

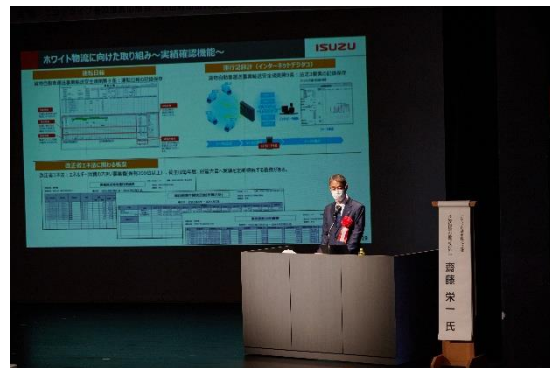
お客様の配達業務や荷役業務の効率化を促進するための提案サービス。

運行管理サービス

燃費向上サポート

顧客サポートサービス

<講演状況>



④ 2022 年度エコドライブ活動コンクール事業部門
優秀賞受賞事業者の発表

【南海バス株式会社】

「エコドライブ = 安全 + 安心」

南海バス株式会社 井高野営業所支配人 河本 裕之 氏
井高野営業所所長 坂口 広剛 氏

＜講演概要＞

- ・事業の原点は安全であり、安全をお客様に届けることで安心を感じていただける。これがエコドライブに繋がっていくと考えている。
- ・2006 年、大阪市交通局による民間企業への運行管理委託公募入札が行われた。南海バスの運行体制の安全性などが評価され、2007 年より井高野営業所における路線バス事業の運営管理受託が決定。大阪市北部を中心とした路線バス事業の運行を担っている。
- ・安心と安全の両立には高いレベルの運転操作やドライバーの接遇が求められると考えている。その2つを会社全体に伝達し取組を推進していくために、井高野営業所では独自の小集団活動を実施している。
- ・7つの乗務員チームを作り、1チーム20名程度の小集団活動を行っている。
- ・小集団活動の目的としては会社の方針や業務に関する情報を正確に伝達することや、乗務員の意見をボトムアップすることによってチームメンバーの意思疎通を図ること主眼としている。
- ・井高野営業所では安全と安心の両立に向けたプラスアルファの取組としてエコドライブが存在しており、エコドライブ活動を推進することで安全と安心の両立に繋がっていると考えている。
- ・井高野営業所ではお客様と自分自身に対して安全運転を誓うことでお客様に安心を感じてもらうことを目的とした独自の「安全宣言」という取組を実施している。
- ・7つのチームが現状に即したエコドライブに関する目標を掲げて活動している。
- ・実技面の向上として実車を使用したエコドライブ研修を実施しており、その他ドライバー日報の点数上位者への表彰などを行っている
- ・ドライバー日報は安全やエコに関する運転結果を点数化したもので、低い点数があるドライバーには個別指導を実施している
- ・営業所内にエコドライブコーナーを設置し、月間平均点や車両ごとの月間燃費を掲示することでエコ運転の可視化を図っている
- ・エコドライブ点数と事故件数の相関をグラフ化すると、エコドライブ点数が上昇するにあたり事故件数が減っていることが確認。
- ・エコ運転啓発としてお客様や一般ドライバーにも見えるよう、独自のエコドライブ啓発ステッカーや告知を車体に貼り付けている。
- ・井高野営業所内でエコドライブ啓発動画を作成し施設内にて再生。ドライバーのエコドライブへの意欲や意識の向上や、同僚のドライバーが動画に映っていることで活動への主体的な参加を促すことを狙いとしている。
- ・活動の成果としては2015年度には活動前と比較して約5.3%の燃費改善という過去最高記録となった。
- ・2020年以降も再び燃費改善傾向になり、燃費改善とともに副次的効果として事故件数の削減も確認できている。

< 講演資料抜粋 >

井高野営業所の取り組み

安全 安心

路線バス事業の根幹は「安全」です。お客さまを無事に目的地までお送りすることで「安全」を提供します。しかしながら、「安心」はお客さまに感じて頂くものであり、その両立にはより高いレベルの運転操作や接客が求められます。

独自の小集団活動の実施

NANKAI

井高野営業所の取り組み(小集団活動)

営業所の取り組みを全従業員に伝達し、各々で見直す小集団活動の機会を設けています。この小集団活動を利用して、取り組みの円滑な実施を図っています。

営業所安全管理

- 支那人
- 営業所長
- 副所長

班別安全管理

- チーム総括(運行管理者)
- チームリーダー(乗務員)
- 乗務員

リーダー会議

NANKAI 13

井高野営業所の取り組み(安全)

〈内容〉

- 事故や苦情のドライブレコーダー映像閲覧による分析と防止策の策定
- 実技研修
- 乗務員レベルでのPDCAサイクルの実践

主体的に理解する意欲・責任感や納得感の増加

NANKAI 15

井高野営業所の取り組み(小集団活動)

【チームごとの目標】

A班 班別安全管理委員会

2023年11月10日(水) 15:00～16:00

議題: エコドライブの実践!

出席者: 支那人、副所長、チーム総括、チームリーダー、乗務員

議題1: エコドライブの現状と課題

議題2: エコドライブの改善策

議題3: エコドライブの表彰

議題4: エコドライブの啓発

議題5: エコドライブの推進

議題6: エコドライブのまとめ

各チームでそれぞれの現状に即したエコ運転に関する目標を掲げています。

NANKAI 18

井高野営業所の取り組み(エコ運転の可視化)

【エコドライブコーナーの設置】

燃費と費用額の推移 車両ごとの月間燃費

NANKAI 21

井高野営業所の取り組み(その他)

バス車体には、エコ運転啓発としてお客さまや一般のドライバーからも見えるようにステッカーを貼り付けています。

乗務員への取り組みは、バス車内の乗客の目撃でいっしょに励みます。お客さまにもご理解、ご協力いただくため、車内告知(車内6箇所)を実施。

NANKAI 23

< 講演状況 >

